

平成 20 年度第 2 回化学教育 F D / I T 活用研究委員会議事概要

I. 日 時：2008 年 7 月 31 日（木）午後 5:00～7:00

II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局会議室

III. 出席者：高野委員長、堀合委員、堀合委員、幅田委員、武岡委員
井端事務局長、森下、恩田

IV. 検討事項：

1. 学士力について

第 1 回委員会における議論を踏まえて、「化学教育における学士力の到達目標（案）」が検討され、以下の成案を得た。

化学教育における学士力の到達目標（案）

1. 一般教養としての科学教育

環境・食料・エネルギーなど解決すべき多くの問題を物質科学の観点から適切に認識し思考できる。

2. 理系における化学教育

化学物質の性状や化学反応の法則性にに基づき、現代化学における新たな知見を学習し、化学物質の安全性や代替性が理解できる。

3. 専門教育としての化学教育

体系化された化学の専門基礎知識と現代化学における実験技術や数値解析技術を用いて問題解決に向けた論理的思考を養い、持続可能性・安全性・信頼性が総合的に判断できる。

2. 今後の活動について

私情協のフォーマットに従って、9 月中旬を目途に、化学・応用化学分野での私情協メンバーリストを活用して「化学教育における学士力の到達目標（案）」に関連する私立大学教員のオープンコメントを聴取し、次回委員会にて議論する。

3. その他

次回の委員会開催予定日：9 月下旬、あるいは 10 月上旬とし、各委員の予定により開催する。

配布資料：

参考1：「化学・応用化学における学士力の到達目標（案）」、私情協・化学教育FD/IT活用研究委員会（平成20年7月25日）

参考2：「学生 基礎学力ない」、日本経済新聞（平成20年7月23日）

参考3：「平成21年度・概算要求：国による支援・取組（各専攻分野を通じて培う「学士力」）抜粋」、文部科学省（平成20年7月）

参考4：「平成19年度私立大学教員の授業改善白書」、社団法人私立大学情報教育協会（平成20年5月）（前回と同じ）